

2019年度

# ダイバーシティ研究環境実現 イニシアティブ(牽引型) 成果報告書

代表機関 国立大学法人奈良女子大学

共同実施機関 奈良工業高等専門学校 武庫川女子大学  
株式会社プロアシスト 帝人フロンティア株式会社 佐藤薬品工業株式会社



[ お問い合わせ ]

奈良女子大学ダイバーシティ推進センター

Mail [diversity-center@cc.nara-wu.ac.jp](mailto:diversity-center@cc.nara-wu.ac.jp)

<https://diversity-center.nara-wu.ac.jp/>



# 目次

<p>■ ご挨拶</p>	<p>代表機関総括責任者 ● 国立大学法人奈良女子大学 学長 今岡春樹</p> <p>共同実施機関 総括責任者 ● 奈良工業高等専門学校 校長 後藤景子 ● 武庫川女子大学学長 瀬口和義 ● 株式会社プロアシスト 代表取締役社長 生駒京子 ● 帝人フロンティア株式会社 技術統括部部长 神山統光 ● 佐藤薬品工業株式会社 代表取締役社長 佐藤進</p>	<p>04-05</p>
<p>■ 事業概要</p>	<p>1. 文部科学省科学技術人材育成費補助事業 「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」について</p> <p>2. 採択事業の概要(2019年度～2024年度)</p> <p>3. 各機関の数値目標</p>	<p>06-07</p>
<p>■ 実施体制</p>	<p>1. 全体体制図</p> <p>2. 連携機関長会議、運営委員会、実務者会議</p> <p>3. 外部評価委員会</p>	<p>08-11</p>
<p>■ 取組1</p>	<p>ダイバーシティ研究環境整備のための取組</p> <p>1. 「ならっこネット」の普及と 「訪問型」病児・病後児保育システムのモデル構築に向けて</p> <p>2. アンケート調査と分析</p> <p>3. 病児・病後児保育関係者・各機関との意見交換</p> <p>4. 「訪問型」病児・病後児保育ワーキンググループ(WG)の設立</p> <p>5. 託児見守りシステムの構築</p> <p>6. サポーター養成講座と共同利用</p> <p>7. ワークライフバランス(WLB)支援相談室と共同利用</p> <p>8. 研究支援員の配置とその成果</p> <p>9. 「ライフイベントからの復帰研究スタートアップ支援費」の実施</p> <p>10. 女性管理職支援制度</p> <p>11. 配偶者に配慮した転勤制度の構築</p> <p>12. 意識啓発活動</p>	<p>12-16</p>

<p>■ 取組2</p>	<p>女性研究者の研究力向上のための取組と それを通じたリーダー育成のための取組</p> <p>1. 共同研究スタートアップ支援経費</p> <p>2. 優秀な女性研究者の顕彰</p> <p>3. 研究力向上のためのセミナー・講演会・シンポジウム等</p> <p>4. 研究費支援</p> <p>5. インターンシップ支援</p> <p>6. ドクターコース進学説明会</p> <p>7. 異分野交流会</p> <p>8. 大学・高専・企業マッチング交流会</p>	<p>17-21</p>
<p>■ 取組3</p>	<p>女性研究者の上位職への 積極登用に向けた取組</p> <p>1. 女性管理職養成プログラム</p> <p>2. 企業における管理職研修</p> <p>3. 女性研究者の上位職への積極登用に向けた各機関の取組</p>	<p>22</p>
<p>■ 取組4</p>	<p>ダイバーシティ研究環境実現方策の 地域への普及のための取組</p> <p>1. 関西圏女子大学ダイバーシティ推進協議会(仮称)</p> <p>2. キックオフシンポジウム</p> <p>3. Webページの構築</p>	<p>23-24</p>
	<p>● 外部評価委員会の設置と活動</p> <p>● 広報関係</p> <p>● 2019年度事業取組実施表</p> <p>● おわりに</p>	<p>25-27</p>





# ご挨拶

## 代表機関 国立大学法人 奈良女子大学 学長 今岡 春樹



2019年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」に採択され、奈良工業高等専門学校、武庫川女子大学、株式会社プロアシスト、帝人フロンティア株式会社、佐藤薬品工業株式会社と本学が連携して、ダイバーシティのある研究環境の実現に向けて取り組むこととなりました。

本学は、基本理念の第1に「男女共同参画社会をリードする人材の育成」を掲げ、平成17年11月に男女共同参画推進室を設置し、平成18年度文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成事業」に採択され、平成22年度文部科学省科学技術振興調整費(平成23年度より文部科学省科学

技術人材育成費補助金)「女性研究者養成システム改革加速事業」に採択され、全学を挙げて男女共同参画のための環境整備、ワークライフバランス支援、意識啓発、女性研究者の採用・昇進の促進等の取組を進めてきました。本事業では、「訪問型」病児・病後児保育システムのモデル構築、女性研究者の研究力向上・リーダー育成、女性研究者の上位職登用促進のための新たな取組・制度を立案し、協力機関を含む関西圏の機関に波及させたいと考えております。本事業の達成のために、6連携機関と協力機関の活発な交流と積極的な事業への参画・遂行が必要となります。関係機関の皆様には、ご指導・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 独立行政法人国立高等専門学校機構 奈良工業高等専門学校 校長 後藤 景子



国立高専機構は、平成27年度ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)に採択され、男女共同参画推進意識啓発、女性研究者のライブイベント及びワーク・ライフ・バランスに配慮した研究環境整備、研究力向上などを目的として、様々な取り組みを行ってきました。本校では上記の活動に積極的に参加するとともに、近畿地区高専と連携し、女子学生のキャリア形成支援事業として「高専女子フォーラム」を毎年継続開催するなど、女性研究者・技術者の裾野拡大のための様々な取り組みを行っています。

本事業においては、男女の意識改革、女性研究者の研究環境整備、研究力向上、裾野拡大のための様々な取り組みを実施します。具体的には、女性研究者の在職比率向上や上位職への登用、意識啓発やリーダー養成のためのセミナー、研修会、講演会の実施、研究費支援制度や研究支援員制度の構築と支援開始、奈良女子大学の「訪問型」病児・病後児保育システムの共同利用などです。また、産官学連携事業やHPを通じて、本事業の情報発信や情報交換を行い、地域における女性研究者・技術者の育成に貢献して行きたいと考えております。

## 学校法人武庫川学院 武庫川女子大学 学長 瀬口 和義



本学の母体となる武庫川学院は令和元年に創立80周年を迎え、この機に学部・大学院の拡張を図り、令和2年度には大学10学部17学科、大学院7研究科にするとともに、創立100周年へ向けたビジョン「一生を描ききる女性力を(育む)」を策定し、その実現のためスタートしました。

平成24年度には文部科学省「女性研究者研究活動支援事業」に採択されたのを機に女性研究者支援センター(令和2年度に女性活躍総合研究所に昇格)を立ち上げ、男女共同参画推進室と共に

ソフト、ハードの両面で女性研究者の支援を行ってきました。その活動を基礎として、本事業ではわが国最大規模の総合女子大学として、代表機関及び共同実施機関と協力しながらダイバーシティ研究環境実現を一層推進していきます。特に本学では、ダイバーシティ研究環境整備、女性研究者の研究力向上と女性リーダー育成、女性研究者の上位職への登用、本事業成果の地域への普及に取り組んでいきます。

## 株式会社プロアシスト 代表取締役社長 生駒 京子



株式会社プロアシストは1994年の創業以来、組込産業における画像処理、音声処理、WEBシステムの開発に取り組んで参りました。1998年からヘルスケアへの取組を始め、遠隔で出来る栄養指導、運動指導のクラウドサービスを開始しております。2011年に簡易で計測できる小型脳波計をリリースし、現在は医療機器の製造販売業として睡眠の見える化での小型脳波計を製造販売しております。またモノづくり企業様の工場における生産管理や品質管理に取組み、現在238名の社員と共に歩かせて頂いております。

創業当初よりダイバーシティ経営に取組み、2015年には経済産業省「ダイバーシティ経営企業100選」を受賞させて頂きました。女性社員の割合は3割強で、女性管理職の割合は2割を超えています。これから更にダイバーシティを推進することで女性だけでなく男性にとっても働きやすい会社となり、社会に貢献できるように社員一同頑張る所存でございます。どうぞ今後とよろしくお願い申し上げます。

## 帝人フロンティア株式会社 技術統括部 部長 神山 統光



帝人フロンティア株式会社では、2003年から帝人グループで展開を開始した「女性活躍推進活動」に参画、社内に「女性活躍推進委員」を置き、社内風土変革プロジェクトの一環として活動を進めて参りました。具体的には、新卒総合職採用においては、「女性採用比率30%以上」という目標を掲げて活動を継続しています。

2007年からは「ダイバーシティ推進委員」へ改称し「多様な人材が活躍できる」性別に関係なく、能力を最大限発揮し、活躍できる雇用環境の実現を目指しています。弊社での活動経験を活か

しダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ事業活動の一助として貢献できることを、また、本事業で得られる成果が弊社で生かせるなど双方にとって有益な活動となるよう取り組んでいきたいと思っております。

## 佐藤薬品工業株式会社 代表取締役社長 佐藤 進



弊社は1947年の創業以来、社是に謳う「国民の保健衛生に貢献する」を経営の第一義に、医薬品の製造販売業を営んでまいりました。現在の主たるビジネスとしては、大手製薬会社様からの受託製造と、自社品の製造販売、また健康食品の企画開発から販売までを行っております。

弊社に於ける女性社員の割合は全体で約43%、平均年齢は34.7歳です。若い世代の女性が活躍してくれており、やはり家事・育児と仕事との両立をしながら頑張ってくれています。そんな女

性社員の活躍を推進支援する環境づくりにも積極的に取り組んでおり、育児休暇制度や短時間勤務制度などに加え事業所内託児所を運営しております。それらの取り組みもあって出産後も働き続けてくれる社員も多くなって参ります。今後の課題としては、女性管理職者の割合を増やすことが挙げられます。能力の高い女性社員は多くいますので、管理職を目指そうと云うモチベーションを持ってもらえるように環境づくりをしながら育成してまいりたいと考えて参ります。



# 事業概要

## 1 文部科学省科学技術人材育成費補助事業 「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」について

「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」は、研究環境のダイバーシティを高め、優れた研究成果の創出につなげるため、各機関・地域の特色を踏まえて、女性研究者のライフイベント及びワーク・ライフ・バランスに配慮した研究環境の整備や女性研究者の研究力向上のための取組、女性研究者の積極採用や研究中断、あるいは離職した女性研究者の復帰・復職支援及び女性研究者の上位職への積極登用にに向けた取組等を支援する事業です。「牽引型」では、大学や研究機関が企業等と連携し、連携する各機関はもとより、その他の機関を含めた地域や分野における女性研究者の活躍促進を牽引することが期待されています。

## 2 採択事業の概要(2019年度～2024年度)

### 採択事業の目的

女性研究者支援に実績をもつ2つの関西圏女子大学と工業高等専門学校、ダイバーシティ推進意欲のある3つの企業が連携し、研究環境整備や女性研究者の研究力向上、女性研究者の上位職への積極登用やダイバーシティ実現方策の普及を進める。特に、附属病院をもたない機関における「訪問型」病児・病後児保育システムのモデル構築、地域の女性研究者の研究環境整備と女性管理職への登用促進を行う。これまでの実績を基盤として、具体的な行動計画をもとに着実に取組を実行し、構築したモデルを全国に波及させ、女性研究者の活躍促進を牽引することを目的とする。

「奈良から、関西から、元気を全国へ！」

### 特記すべき取組

<p>「訪問型」 病児・病後児保育システムの構築</p> <p>附属病院をもたない機関における病児・病後児保育をどのように実施するか、特に「なっこネット」をベースにした「訪問型」病児・病後児保育のあり方、全国への普及について検討する</p>	<p>地域の女性研究者の研究環境整備と 女性管理職への登用促進</p> <p>共同研究の推進や学位取得の支援を進め、女性管理職となるために必要な知識・スキルについて体系的に学ぶことができ、大学等の研究機関、企業それぞれの実態に合わせた女性管理職プログラムを構築する</p>
--	--

ロゴマーク



6つの連携機関が互いに手を取り合い、ダイバーシティ実現という目的に向かって協働する様子を描いています。

### 4つの取組

<p><b>取組 1</b> ダイバーシティ研究環境整備のための取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各機関での研究環境整備と共同利用</li> <li>「訪問型」病児・病後児保育システムの構築</li> <li>ダイバーシティ実現のための制度の整備</li> <li>意識啓発活動等</li> </ul>	<p><b>取組 2</b> 女性研究者の研究力向上のための取組とそれを通じたリーダー育成のための取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>共同研究の推進と優秀な女性研究者の顕彰</li> <li>研究力向上と外部資金獲得のためのセミナー等</li> <li>先端的な国際研究活動のための研究費支援</li> <li>女性研究者の裾野拡大と多様なキャリア形成支援</li> </ul>
<p><b>取組 3</b> 女性研究者の上位職への積極登用にに向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>女性研究者の採用・昇進に関わるポジティブアクション</li> <li>女性管理職養成のための制度・研修</li> </ul>	<p><b>取組 4</b> ダイバーシティ研究環境実現方策の地域への普及のための取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果の発信とシンポジウムの開催</li> </ul>

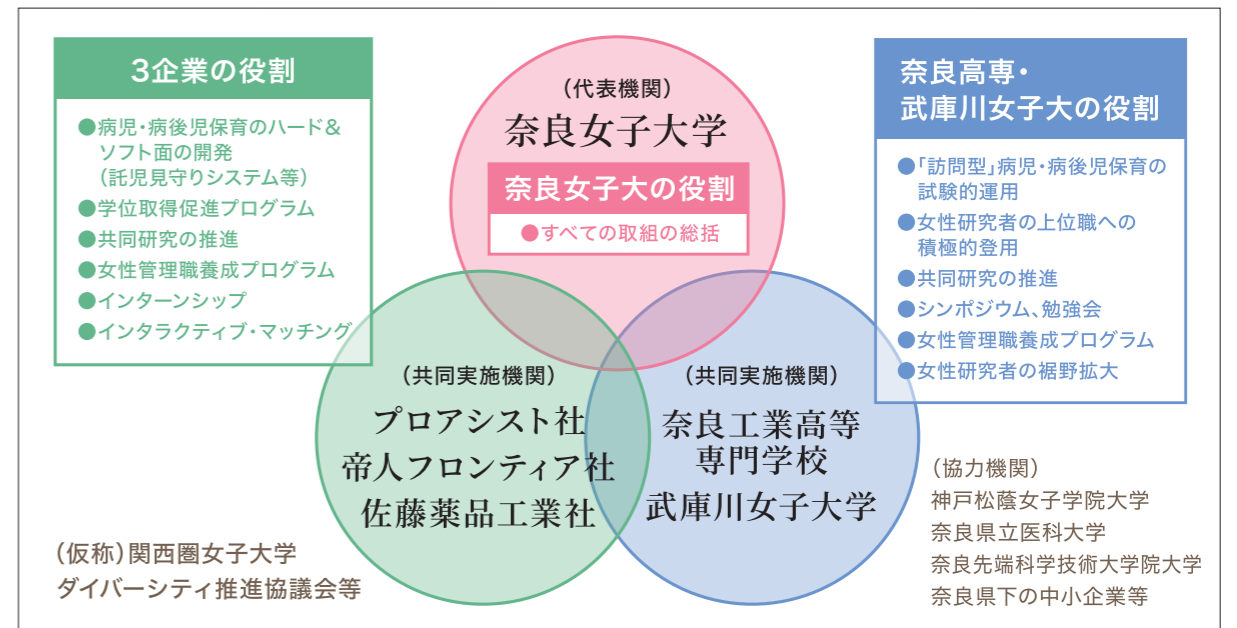
## 2019年度 6つの機関の連携体制と相乗効果

	奈良女子大学	奈良高専	武庫川女子大学	プロアシスト社	帝人フロンティア社	佐藤薬品工業社
ダイバーシティ研究環境整備	「訪問型」病児・病後児保育システムの構築、女性管理職制度の構築		復帰研究スタートアップ支援の実施		配偶者に配慮した転勤制度の構築	
女性研究者の研究力向上のための取組とそれを通じたリーダー育成のための取組	研究力向上のためのセミナー・シンポジウムの共同参加					
女性研究者の上位職への積極登用にに向けた取組	「次世代育成支援対策推進法及び女性活躍推進法に基づく奈良女子大学行動計画」を更新・策定し、女性管理職等の数値目標を決定	女性限定公募の実施		リーダー養成教育研修の実施、女性研究者の上位職への積極登用にに向けたチャレンジ制度の実施	管理職対象のダイバーシティ研修を実施	課長以上を対象としたマネジメント研修を実施
ダイバーシティ研究環境実現方策の地域への普及のための取組	キックオフシンポジウムの開催					
	ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ共通Webページの構築					

協力機関・関西圏女子大学ダイバーシティ推進協議会

連携協力

## 明確な役割分担で多様な持ち味を活かす



## 3 各機関の数値目標

	現状(2019年度)と目標値(2024年度)
奈良女子大学	【自然科学系】指導的地位にある女性教員 17.9%(現状) → 20.4%(2024)
奈良工業高等専門学校	女性教授職(工学系) 7.4%(現状) → 11.1%(2024)
武庫川女子大学	【自然科学系】指導的地位への女性登用 42.6%(2019-2024)、女性の採用比率 65.0%(現状) → 73.9%(2024)
プロアシスト社	【自然科学系】指導的地位にある女性研究者 11.1%(現状) → 18.5%(2024)
帝人フロンティア社	女性管理職数 現在の数の2倍(20名以上)(2025年末)
佐藤薬品工業社	管理職に占める女性比率 15%以上



# 実施体制

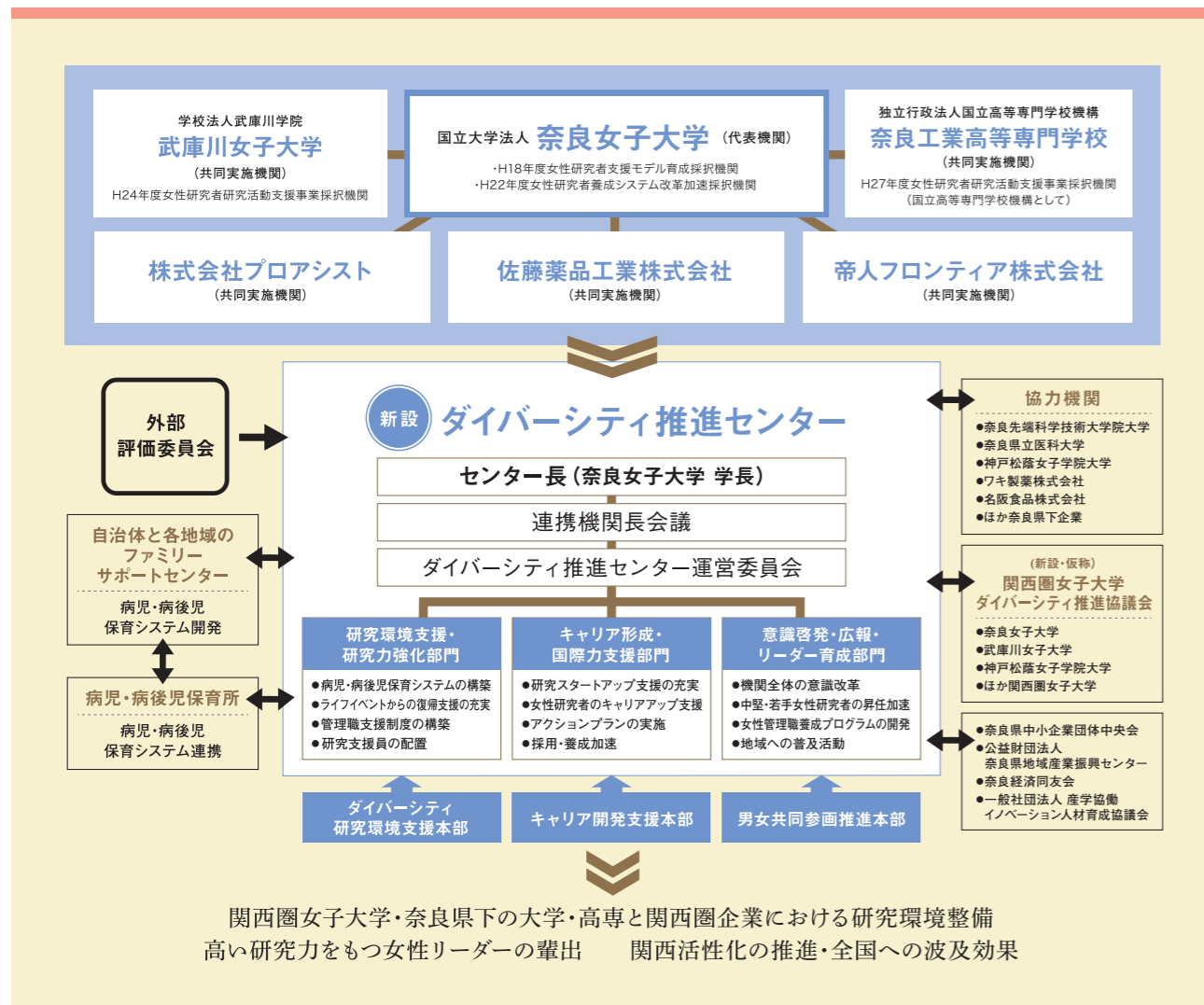
## 1 全体体制図

**代表機関** 国立大学法人 奈良女子大学

- 共同実施機関**
- 独立行政法人国立高等専門学校機構 奈良工業高等専門学校
  - 学校法人武庫川学院 武庫川女子大学
  - 株式会社プロアシスト
  - 帝人フロンティア株式会社
  - 佐藤薬品工業株式会社

- 協力機関**
- 国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学 ● 奈良県立医科大学
  - 神戸松蔭女子学院大学 ● ワキ製薬株式会社 ● 名阪食品株式会社 等

「ダイバーシティ推進センター」を新設し、「ダイバーシティ推進センター規程」、「ダイバーシティ推進センター運営委員会規則」を整備  
 「ダイバーシティ推進センター」には、「研究環境支援・研究力強化部門」「キャリア形成・国際力支援部門」「意識啓発・広報・リーダー育成部門」を設置し、奈良女子大学男女共同参画推進機構の3本部と連携し、具体的な取組を推進



## 2 連携機関長会議、運営委員会、実務者会議

### 2019年度委員名簿

● 連携機関長会議

委員長	今岡 春樹	奈良女子大学学長	ダイバーシティ推進センター長/代表機関総括責任者
委員	春本 晃江	奈良女子大学副学長(男女共同参画担当)	ダイバーシティ推進センター副センター長/代表機関実施責任者
委員	藤原 素子	奈良女子大学理事・副学長(研究・情報担当)	
委員	後藤 景子	奈良工業高等専門学校校長	共同実施機関総括責任者
委員	松村 寿枝	奈良工業高等専門学校教授	共同実施機関実施責任者
委員	瀬口 和義	武庫川女子大学学長	共同実施機関総括責任者
委員	河合 優年	武庫川女子大学副学長	共同実施機関実施責任者
委員	生駒 京子	株式会社プロアシスト代表取締役社長	共同実施機関総括責任者/共同実施機関実施責任者
委員	神山 統光	帝人フロンティア株式会社技術統括部長	共同実施機関総括責任者/共同実施機関実施責任者
委員	佐藤 進	佐藤薬品工業株式会社代表取締役社長	共同実施機関総括責任者
委員	若竹 紀子	佐藤薬品工業株式会社取締役総務部長	共同実施機関実施責任者

● 運営委員会

委員長	今岡 春樹	奈良女子大学学長/ダイバーシティ推進センター長/代表機関総括責任者
委員	春本 晃江	奈良女子大学副学長(男女共同参画担当)/ダイバーシティ推進センター副センター長/代表機関実施責任者
委員	藤原 素子	奈良女子大学理事・副学長(研究・情報担当)
委員	安田 恵子	奈良女子大学男女共同参画推進機構副機構長/男女共同参画推進本部長
委員	高田 将志	奈良女子大学キャリア開発支援本部長/人間文化総合科学研究科長
委員	野村 鮎子	奈良女子大学文学部長
委員	渡邊 利雄	奈良女子大学理学部長
委員	黒子 弘道	奈良女子大学生活環境学部長
委員	鈴木 広光	奈良女子大学社会連携センター長
委員	松村 寿枝	奈良工業高等専門学校教授/共同実施機関実施責任者
委員	河合 優年	武庫川女子大学副学長/共同実施機関実施責任者
委員	生駒 京子	株式会社プロアシスト代表取締役社長/共同実施機関実施責任者
委員	神山 統光	帝人フロンティア株式会社技術統括部長/共同実施機関実施責任者
委員	若竹 紀子	佐藤薬品工業株式会社取締役総務部長/共同実施機関実施責任者

● 実務者会議

春本 晃江	奈良女子大学教授
安田 恵子	奈良女子大学教授
岩阪 豊	奈良女子大学事務局次長/総務・企画課長
荒堀 陽子	奈良女子大学総務・企画課課長補佐
境 雅歳	奈良女子大学総務・企画課係長
松村 寿枝	奈良工業高等専門学校教授
身吉 孝一	奈良工業高等専門学校・総務課課長補佐
福尾 恵介	武庫川女子大学教授
鈴木 正一	武庫川女子大学人事部・男女共同参画推進室専門員
本間 ひろみ	武庫川女子大学男女共同推進課長
東條 弘	武庫川女子大学事務局主席専門員

その他、参加を希望する連携機関の担当者。2020年度からは3企業も含めた実務者会議とすることが了承されている。



## 〈会議記録〉

### ● 連携機関長会議

日時: 令和2年2月27日(木) 11:00-11:40

場所: 奈良女子大学本部管理棟

#### 報告事項

1. 令和元年度実施報告について
2. ダイバーシティ推進センター招へい教員について
3. ダイバーシティ推進センター外部評価委員会委員について
4. 管理職向けFD研修会について
5. その他

#### 審議事項

1. 令和2年度事業計画について
2. 令和2年度予算について
3. ダイバーシティ推進センター招へい教員について
4. その他

### ● 運営委員会

日時: 令和2年2月27日(木) 10:00-10:46

場所: 奈良女子大学本部管理棟

#### 報告事項

1. 令和元年度実施報告について
2. ダイバーシティ推進センター招へい教員について
3. ダイバーシティ推進センター外部評価委員会委員について
4. その他

#### 審議事項

1. 令和2年度事業計画について
2. 令和2年度予算について
3. 奈良女子大学ダイバーシティ推進センター女性研究者賞規程の一部改正について
4. ダイバーシティ推進センター招へい教員について
5. その他

### ● 第1回実務者会議

日時: 令和元年10月3日(木) 13:00-15:10

場所: 奈良女子大学本部管理棟

#### 協議事項等

- |  |   |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 優秀な女性研究者への研究費支援について</li> <li>2. 研究者交流事業(研究・交流フェア、異分野交流会、近畿地区高専マッチング交流会)について</li> <li>3. 「訪問型」保育システムの共同利用及び「訪問型」病児・病後児保育システムのモデル構築について</li> <li>4. キックオフシンポジウム・成果報告会について</li> </ol> | <ol style="list-style-type: none"> <li>5. その他           <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) ワークライフバランス支援相談室の共同実施機関の共同利用について</li> <li>(2) 共同研究スタートアップ支援経費について</li> <li>(3) 関西圏女子大学ダイバーシティ推進協議会の設置について</li> <li>(4) ダイバーシティ推進センター運営委員会、連携機関長会議について</li> <li>(5) その他</li> </ol> </li> </ol> |
|--|---|

### ● 第2回実務者会議

日時: 令和元年11月19日(木) 14:30-17:20

場所: 奈良女子大学本部管理棟

#### 協議事項等

- |  |  |
|--|--|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 優秀な女性研究者への研究費支援について</li> <li>2. 共同研究スタートアップ支援経費について</li> <li>3. 研究者交流事業(研究・交流フェア、異分野交流会、近畿地区高専マッチング交流会)について</li> <li>4. 「訪問型」保育システムの共同利用及び「訪問型」病児・病後児保育システムのモデル構築について</li> </ol> | <ol style="list-style-type: none"> <li>5. 関西圏女子大学ダイバーシティ推進協議会の設置について</li> <li>6. その他           <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 女性管理職養成プログラムの構築について</li> <li>(2) 見守りカメラの設置について</li> <li>(3) HPの構築について</li> </ol> </li> </ol> |
|--|--|

### ● 第3回実務者会議

日時: 令和元年12月23日(月) 14:30-17:10

場所: 奈良女子大学本部管理棟

#### 協議事項等

- |   |   |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 優秀な女性研究者への研究費支援について</li> <li>2. 共同研究スタートアップ支援経費について</li> <li>3. 研究者交流事業(研究・交流フェア、異分野交流会、近畿地区高専マッチング交流会)について</li> <li>4. 「訪問型」保育システムの共同利用及び「訪問型」病児・病後児保育システムのモデル構築について</li> <li>5. 関西圏女子大学ダイバーシティ推進協議会の設置について</li> <li>6. 女性管理者養成プログラムの構築について</li> <li>7. キックオフシンポジウム・運営委員会・連携機関長会議(令和2年2月27日(木))について</li> </ol> | <ol style="list-style-type: none"> <li>8. 外部評価委員の選定について</li> <li>9. ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)HPについて</li> <li>10. その他           <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 見守りカメラについて</li> <li>(2) 奈良女子大学における(教育)研究支援員の配置について</li> <li>(3) 奈良高専第1回きらかセミナーについて</li> </ol> </li> </ol> |
|---|---|

### ● 第4回実務者会議

日時: 令和2年1月31日(金) 14:30-17:13

場所: 奈良女子大学本部管理棟

#### 協議事項等

- |   |  |
|---|--|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 令和2年度 事業計画</li> <li>2. 令和2年度 積算内訳</li> <li>3. その他           <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) キックオフシンポジウムについて</li> <li>(2) 外部評価委員の選定について</li> <li>(3) 推進センターのNewsletterについて</li> </ol> </li> </ol> | <ol style="list-style-type: none"> <li>(4) 共同研究支援経費について</li> <li>(5) 今年度成果報告書について</li> <li>(6) 「訪問型」病児・病後児保育システムの構築に向けての情報収集について</li> <li>(7) 推進センターのHPの進捗状況</li> <li>(8) 見守りカメラ設置に向けた進捗状況</li> <li>(9) その他</li> </ol> |
|---|--|

## 3 外部評価委員会

「ダイバーシティ推進センター外部評価委員会規則」を制定

委員会は、ダイバーシティ推進センターに関する事業の運営及び事業の目標達成度に関することについて評価を行う。

● 委員 稲葉 カヨ氏 京都大学理事・副学長

● 委員 相馬 芳枝氏 立命館大学 キャリアアドバイザー・産総研名誉リサーチャー



# 取組1 ダイバーシティ研究環境整備のための取組

## 1 「ならっこネット」の普及と「訪問型」病児・病後児保育システムのモデル構築に向けて

### 待望の「訪問型」病児・病後児保育の実現へ

これまでの取組により  
若手女性教員の増加  
理学部若手女性教員(助教、准教授)のうち  
約60%が子育て中

病児・病後児保育のニーズも増加

利用者 Webならっこ 地域のサポーター

急にお熱が出てしまって… 今日学会なのに…

ごめんなさい、病気のお子さんのお宅には、訪問できません。

こんな課題が!

予想図 病児・病後児保育に関する研修を受けたサポーターがマンツーマンでお預かりします

本取組で解決

#### 「訪問型」病児・病後児保育に向けた見通し

重要ポイント

- 1 リスク管理 事故を防ぐ
- 2 サポーターの養成 病児・病後児の託児に対応
- 3 医療機関との連携 近隣の小児科医等

- ❖ 自治体や各地域のファミリーサポートセンターと連携
  1. 市と県の医師会との連携
  2. 調査、意見交換: 病児・病後児保育実施機関
  3. 専門家(医師・弁護士等)を交えた協議
  4. 病児・病後児対応可能サポーター養成
  5. シンポジウム等: 「附属病院をもたない研究機関における病児・病後児保育のあり方」
- ❖ 共同実施機関の技術活用  
病児・病後児見守りシステム開発 …… プロアシスト社のIT技術

10年以上にわたり奈良女子大学で実施してきた「訪問型」託児システム「ならっこネット」を基盤にして、「訪問型」病児・病後児保育システムを構築し、全国のモデルを目指す。

## 2 アンケート調査と分析

「訪問型」病児・病後児保育システムのモデル構築のためのニーズ調査を兼ねたアンケートを実施(奈良女子大学、奈良工業高等専門学校、武庫川女子大学)

結果の抜粋(奈良女子大学)

Q 研究・仕事・学業と育児の両立に関して悩むこと、或いは、かつて子育て中に悩まれたことは何ですか?

●1位 子どもの病気で欠勤(欠席)・遅刻・早退をすることがあり、周囲に迷惑をかけてしまう。  
●2位 夜遅くまで残れない。夕刻以降の会議に出席しにくい。 ●3位 子どもと過ごす時間が少ない。

Q 勤務日(出席日)にお子さんがケガや病気で、保育施設・小学校を欠席することになった場合、どのように対応されていますか。或いは、対応されていましたか。

●1位 自分が仕事を休んで看護する。 ●2位 祖父母に預けて看護してもらう。  
●3位 就労している配偶者が休みを取って看護する。

Q 「訪問型」病児・病後児保育システムについて、12歳以下の子どもがいる方(55名)の回答

●病児・病後児保育は必要であり、訪問型があれば利用したい。(23名 42%)  
●病児・病後児保育は必要だが、訪問型でない方がよい。(11名 20%)  
●「その他」の中でも否定的でないもの(6名 11%)  
→ 何らかの形で病児・病後児保育が必要という意見(40名 73%)

仕事と育児の両立で困ることの第一に子どもの病気が挙げられ、その時は、自分または身内が仕事を休んで看護する実態が見えてくる。何らかの形で病児・病後児保育が必要という意見は、小さい子どもを抱える研究者の7割を超える。

## 3 病児・病後児保育関係者・各機関との意見交換

令和元年12月19日	一般財団法人 女性労働協会	東京都港区
令和元年12月20日	認定NPO法人 フローレンス	東京都千代田区
令和2年1月22日	全国ボランティアナースの会 キャンナス生駒	奈良市
令和2年1月29日	訪問看護ステーション「なでしこ」	奈良市
令和2年2月8日	子育てと仕事.com	奈良市
令和2年2月18日	すくすく子どもクリニック/きらきら保育園	奈良市
令和2年2月25日	堺市訪問型病児保育センター	堺市

### ●自治体との連携・面談

令和2年2月19日	奈良市子ども未来部子ども育成課	奈良市
-----------	-----------------	-----

## 4 「訪問型」病児・病後児保育ワーキンググループ(WG)の設立

### ●WGメンバー

西原 信氏(医療アドバイザー)	すくすく子どもクリニック/きらきら保育園院長	小児科医師
安原 忍氏	全国ボランティアナースの会 キャンナス生駒代表	看護師・保育士
新谷 まさこ氏	子育てと仕事.com代表	看護師・保育士
推進センタースタッフ		保育士ほか

### ●第1回WG会議

日時: 令和2年3月17日  
場所: すくすく子どもクリニック/きらきら保育園(奈良市)

#### 議題

1. 奈良女子大学「訪問型」病児・病後児保育のシステム構築について 趣旨説明
2. 奈良女子大学「訪問型」病児・病後児保育 進捗状況報告と意見交換

## 5 託児見守りシステムの構築

託児の状況を遠隔で見守るシステムの構築に向けて、プロアシスト社、奈良女子大学、武庫川女子大学で打合せを行い、遠隔見守りでの必要なICTシステムの検討を行った。



## 6 サポーター養成講座と共同利用

- サポーター養成のためのブラッシュアップ講座を開講、共同実施機関の共同利用可

開催日時	場所	講座タイトル	講師	参加者数
令和元年10月25日(金) 13:00-15:00	奈良女子大学	乳幼児の自己表現 ～ことば・あそび・からだのチャンネルをつかって～	奈良女子大学 生活環境学部准教授 臨床心理士・公認心理師 黒川嘉子氏	26名
令和元年11月25日(月) 13:00-15:00	奈良女子大学	乳幼児の事故予防とAEDを使用した一次救命	日本赤十字社 奈良県支部 山田陽子氏	19名
令和元年12月9日(月) 10:00-12:00	奈良こども館	体験! 保育の現場@奈良こども館	奈良こども館館長 森田一雄氏	10名
令和2年2月8日(土) 13:00-15:00	奈良女子大学	どうする!? 保育中の急なケガや事故に救急対応! ～食事中・あそび中・午睡中の安全～	子育てと仕事.com代表 看護師 新谷まさこ氏	29名



## 7 ワークライフバランス(WLB)支援相談室と共同利用

奈良女子大学に設置している「WLB支援相談室」を共同実施機関においても利用できるように、共同利用を開始した。また、ミニ講座の共同利用を開始した。HPやチラシで広報を行った。

- 2019年度「WLB支援相談室」カウンセラー

島本 太香子氏	奈良大学教授/ 奈良県男女共同参画審議会委員	産婦人科医師
梶間 敦子氏	奈良学園大学保健医療学部教員	助産師・看護師
太田 育子氏		社会福祉士・認知症ケア専門家

### 「WLB支援相談室」ミニ講座の開催(全9回)

昼休み時12:30-13:00

カウンセラーによる女性の健康、妊娠・出産・育児、介護に関する情報提供・相談のための講座



## 8 研究支援員の配置とその成果

ライフイベント中の子育てや介護等の支援の充実・拡充のために、研究支援員制度を構築し、実施した。

- 2019年度実績

	対象者	
奈良女子大学	13名	教育研究支援員制度(*)
奈良工業高等専門学校	7名	きらりか研究支援員制度
武庫川女子大学	4名	研究支援員制度

\*教育研究支援員制度では、ライフイベントや本人の病気・ケガの事由により支援を必要としている教員(\*\*男女を問わない)に支援員を配置している。教育に関する支援は自主経費で、研究に関する支援は補助金で行い、包括的な支援を行っている。(\*\*男性の場合は、配偶者が研究機関等における常勤の研究者であることが条件)

### 支援を受けた教員からの報告

- 時間がかかる研究に関する事務作業を補助してもらうことで、自分自身にしかできない考察・検討などの研究作業に集中することができた。(論文を3編作成したとの報告)
- 育児に時間を取られ、事務的な仕事も多くて研究時間がなかなか取れない中、手が回らない研究資料・情報の収集と整理をお願いしました。論文参考文献、その文献の参考文献、と芋づる式に必要なデータを集めていただき、研究活動に役立てることができました。また、セミナー開催時の補助もお願いしました。(研究成果を研究集会で発表、研究報告集に掲載)
- 調査・分析における準備・片付けの補助を得たため、実際の分析を集中して行えました。また、データ入力や書類作成への補助により、研究活動を円滑に進められました。今回の支援により、研究活動の時間を確保し、かつ、育児時間の余裕ができてライフワークバランスを整えるのに非常に有効でした。感謝しております。
- 研究活動支援として、実験の準備や補助、器具の洗浄や滅菌、細胞培養等の実験の補助をしていただきました。また、実験の補助やデータ整理をしていただいたことで、他大学との共同研究を着実に進めることができました。支援員の方々のサポートのお陰で、支援期間中に国内学会に参加し、指導学生と共に4題の研究発表をすることができ、うち1題は「Best Presentation Award」を受賞することができました。

### 研究支援員からの報告

- 先生が時間のやりくりをしながら研究を続ける姿勢を間近に見ることができ、自分自身の将来について考えることができました。私も、仕事と家庭を両立させられるように頑張りたいと思います。
- 研究活動の支援を行ったことで、今までに行ったことのない実験のお手伝いをする事ができ、新たな技術を身につけることができた。
- 令和2年4月より分析技術者として働く私にとって、それまでの半年間における教育研究支援員としての経験は、今後のキャリア形成に大きな効果があった。まず、実験を自分で組み立てるところからデータのまとめまで、一通りを任せさせていただいたことで、実験の進め方を学び、知識を十分に得ることができた。また、女性教員のもとで働いたことで、仕事と家庭の両立、つまりワークライフバランスについて考えるきっかけとなった。
- 自身の研究経験だけでなく、研究支援員としての他の研究者への研究活動支援の経験および実績が評価され、4月より〇〇大学〇〇研究科〇〇センターに採用されることになった。(〇〇は個人情報のため削除)

## 9 「ライフイベントからの復帰研究スタートアップ支援費」の実施

### 武庫川女子大学

ライフイベントからの復帰支援の充実を図るため、ダイバーシティ推進委員会で「ライフイベントからの復帰研究スタートアップ支援費」の募集要項を確定後、1名に外部資金獲得を目指し研究基盤の再構築に係る支援(研究会参加や論文投稿費等)を実施した。



# 10 女性管理職支援制度

## 奈良女子大学

女性管理職支援制度(\*)を構築し、2020年度より実施することとした。

\*「ダイバーシティ推進センター管理職支援制度」とは、奈良女子大学では、採用教員の女性割合は比較的高く、就業も継続されているが、大学組織の管理職における女性割合は低い。そこで、教育研究活動や大学の管理運営と、介護等のライフイベントとの両立を可能にするため、管理職を支援する制度を「ダイバーシティ推進センター管理職支援制度」として制定した。

# 11 配偶者に配慮した転勤制度の構築

## 帝人フロンティア社

配偶者異動に伴う当社社員が同じ地域への転勤を希望する場合、その地域に業務があることが条件で転勤を認める制度を構築

# 12 意識啓発活動

## 奈良女子大学

日時	講演題目	講師	場所	参加者
令和元年11月14日(木) 15:00-16:30	「わたし」を活かせる社会の実現をめざして すべては思い込みを捨てるところから始まる	中根弓佳氏 (サイボウズ株式会社執行役員、 人事本部長兼法務統制本部長)	奈良女子大学	24名
令和2年1月16日(木) 15:00-17:00	パパの育児が世界を救う?! ～男性の育児の今昔～	小崎恭弘氏 (大阪教育大学教育学部准教授・ NPO法人ファザーリング・ジャパン顧問)	奈良女子大学 佐佐木会館	33名



## 奈良工業高等専門学校

- ダイバーシティの現状分析・評価を行うためのコンサルティング(12月2回、2月1回)の実施、コンサルティング報告書の作成
- 教職員向け講演会開催(3月27日)、参加者23名(新型コロナウイルス感染予防対策のため、遠隔での受講も可能)

# 取組 2

女性研究者の研究力向上のための取組とそれを通じたリーダー育成のための取組

# 1 共同研究スタートアップ支援経費

連携2機関(奈良女子大学、武庫川女子大学)において、共同研究開始を支援する「共同研究スタートアップ支援制度」を構築し、募集及び審査を行って共同研究プロジェクトを採択した。2020年度からは6機関が共同で募集・審査を行うために検討を行った。

## ●共同研究スタートアップ支援経費実績

募集・審査	プロジェクト題目	研究代表者所属機関・職・氏名	共同研究者所属機関
奈良女子大学	織毛虫プレファリズムにおける 生理活性物質の同定と 生理活性の評価および生合成経路の解明	奈良女子大学大学院 自然科学系・ 准教授・杉浦 真由美	武庫川女子大学、 大阪市立大学、 ミネソタ大学(米国)
	中高年時代における 調整力と運動機能の連関に関する研究	奈良女子大学大学院 生活環境科学系・ 助教・大高 千明	武庫川女子大学
武庫川女子大学	浜甲子園地域における 高齢者フレイル予防・対策トライアル	武庫川女子大学・薬学部・ 教授・大川 恭子	(株)プロアシスト 西宮市薬剤師会

# 2 優秀な女性研究者の顕彰

連携3機関(奈良女子大学、奈良高専、武庫川女子大学)において、特に優秀な女性研究者対象の賞を設立し、募集・審査を行い、受賞者を決定して研究助成を実施した。2020年度からは共同で募集を行うために募集要項を検討した。

## ●ダイバーシティ推進センター女性研究者賞実績

募集・審査	受賞者	所属・職
奈良女子大学	竹内 孝江	奈良女子大学大学院自然科学系・准教授
	三成 美保	奈良女子大学大学院生活環境科学系・教授
奈良工業高等専門学校	伊月 亜有子	奈良工業高等専門学校 物質化学工学科・准教授
	宇田 亮子	奈良工業高等専門学校 物質化学工学科・准教授
	松村 寿枝	奈良工業高等専門学校 情報工学科・教授
武庫川女子大学	山本 周美	武庫川女子大学生活環境学部・准教授
	横路 三有紀	武庫川女子大学生活環境学部・助教



## 3 研究力向上のためのセミナー・講演会・シンポジウム等

### 武庫川女子大学

#### シンポジウム

「世界で、国内で活躍する先輩から 一つながる・つなげる武庫女魂」を開催  
(武庫川学院創立80周年記念事業)

日時: 令和元年9月28日(土) 場所: 武庫川女子大学 参加者48名

#### 講演者

- 本宮暢子氏(アリゾナ大学名誉教授、大阪市立大学都市健康スポーツ研究センター客員教授、大阪市立大学生活科学研究科特任教授)
- 田村玲子氏(株式会社ワールドピープルUSA代表取締役)
- 高木絢加氏(島前町村組合 管理栄養士、隠岐広域連合立 隠岐島前病院勤務)
- ハリス愛子氏(イースタンワシントン大学 文学部英語科 講師)

武庫川女子大学卒業後の歩みや、人との出会い、活動のきっかけとなったエピソードなどについてご紹介いただいた。その後会場からの質問や、パネラーの先生方とのディスカッションを行った。出席者からは、「武庫川の卒業生の強み、たくましさ、真摯さが伝わってきました」「自分のこれからの人生を考える良いきっかけになりました。」「登壇者の方がスタートしたきっかけを聞き、一歩踏み出す方が必要だと感じました。」などの感想が寄せられた。



### 第1回異分野交流カフェを開催

日時: 令和元年12月2日(月) 場所: 武庫川女子大学 参加者11名

#### 目的

学部・学科を超えて研究者と出会い、新しい発想で研究テーマを発掘すること。  
「健康・福祉・予防」をキーワードとし、建築・住環境・被服・素材・高齢者・栄養・通信・食品・運動・サプリメント・繊維など、さまざまな視点から研究交流が行われた。また、研究方法や研究の管理運営についても意見交換がなされた。



### 奈良女子大学

競争的資金獲得のためのセミナーを共同実施機関と共に開催  
「研究力向上セミナー ～科研費獲得に向けて～」

日時: 令和元年9月25日(水) 13:00~14:30 場所: 奈良女子大学 参加者29名

- 講師 松場里弥氏(ロバスト・ジャパン株式会社)

より採択されやすい科研費申請書の書き方に関して実例を交えた講演を行っていただいた。「学術的問い」を中心に記述することの重要性や審査結果の点数の見方など、審査員の視点からより採択されやすい申請書を書くためのポイントについてわかりやすく解説された。

### 研究のための英語力強化セミナーを実施

#### 1 Effective Presentation

日時: 令和2年3月3日(火) 9:00~16:00

参加者 奈良女子大学女性教員4名(准教授2名、助教1名、特任講師1名)

日時: 令和2年3月4日(水) 10:00~17:00

参加者 奈良女子大学女性教員4名(准教授2名、助教2名)

場所: 奈良女子大学

- 講師 アルク株式会社 専任講師 Daniel Brook氏



#### 2 Creative Speaking

日時: 令和2年3月10日(火) 9:00~17:00、  
3月11日(水) 9:00~17:00

場所: 奈良女子大学

参加者 奈良女子大学女性教員5名(准教授3名、助教2名)

- 講師 アルク株式会社 専任講師 松井貴子氏



### 研究力向上及びリーダー養成のためのセミナー

「第1回きららかセミナー」  
「AI時代到来 社会やビジネスにおいて、AIで何ができるか?」を開催

日時: 令和2年1月20日(月) 16:30~18:00

場所: 奈良工業高等専門学校

参加者45名  
(学生、大学・高専教職員、企業の技術者・経営者など)







## 帝人フロンティア社

## 管理職候補社員へのキャリアデザイン研修を実施

対象者1名を選定し、10月～合計6回の社外講習を受講させた。

## 4 研究費支援

## 奈良女子大学

「研究力向上チャレンジ支援制度(\*)」を構築し、募集・審査を行って6名の教員のプロジェクトを採択、研究費の支援を行った。

\*「研究力向上チャレンジ支援制度」 趣旨:優秀な女性研究者が研究力を向上させて、さらなる研究上のチャレンジを行って大型の外部資金獲得に挑戦するために必要な備品及び消耗品を支援する制度

## 奈良女子大学

「スキルアップ経費支援制度」

奈良女子大学において、理工農医保健系の女性教員を対象に、国内外の学会旅費支援及び英文校閲費用の支援を自主経費により実施。2019年度14件

## 奈良工業高等専門学校

女性研究者への研究業績を上げるために、研究用図書と備品を購入する研究費を8名の女性研究者に配分した。

## 5 インターンシップ支援

## 奈良女子大学

C-ENGINE(産学協働イノベーション人材育成協議会)と連携して研究インターンシップを実施し、2019年度はのべ12名の大学院生が企業(8社)で研究インターンシップを行った。また、学生と企業の交流会を開催した。

## プロアシスト社

女子学生・女性研究者向けキャリアパス支援の取組として、インターンシップ/インタラクティブマッチングを8回開催し、11名の学生のインターンシップを行った。

インターンシップ報告会も別途開催

## 6 ドクターコース進学説明会

日時:令和2年1月27日(月)16:20~17:50 場所:奈良女子大学 参加者63名

## プログラム

- 新しい博士後期課程 ~人間文化研究科から人間文化総合科学研究科へ~
- さまざまな支援体制 ~キャリア開発、子育て支援、奨学金、授業料免除、研究助成金など~
- 進路およびドクターを取りまく最近の社会情勢の変化
- 進学者・修了者の経験談

## 7 異分野交流会

日時:令和2年2月2日(日)12:00~16:40 場所:奈良女子大学 参加者35名

目的 関西圏女子大学の異分野の研究者が集まり、新しい共同研究や協力体制を立ち上げること

テーマ 「みつける」「ささえる」「つなげる」

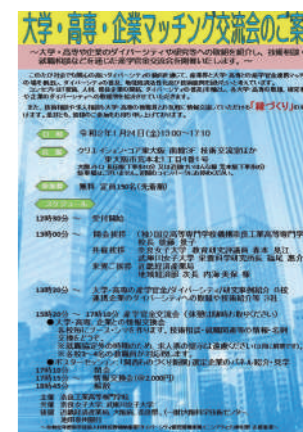
奈良女子大学において異分野交流会を開催し、奈良女子大学、奈良工業高等専門学校、武庫川女子大学、神戸松陰女子学院大学、プール学院短期大学の教員・大学院生約35名が参加し、活発な議論を行った。これをきっかけに共同研究のシーズも生まれている。



## 8 大学・高専・企業マッチング交流会

日時:令和2年1月24日(金)13:00-17:10 場所:クリエイション・コア東大阪 参加者123名(57機関)

ダイバーシティ事業の地域への普及の一環として、近畿地区高専マッチング交流会において女性研究者の活躍に係る広報を行った。参加者57機関(関係機関を含む)123名、うち学校関係者、後援機関など59名。更に、将来の女性研究者育成のために必要な女子学生教育に関する情報交換会を9月8日に行い、近畿地区の国立私立の高専教員5名が参加した。





## 取組 3

女性研究者の  
上位職への積極登用にに向けた取組

# 1 女性管理職養成プログラム

女性管理職養成プログラムの開発に代表機関と共同実施機関が共同で着手した。

# 2 企業における管理職研修

### プロアシスト社

社内でリーダー養成教育を行い、また外部講師による教育研修を行った。  
外部教育研修を契約し、各メンバーがそれぞれのクラスに応じた研修を受講した。

### 帝人フロンティア社

管理職を対象とした研修(対象: 課長クラス、e-ラーニングと集合研修5日間)を大阪(参加者21名)と東京(参加者24名)で開催した(うち女性3名)。研修会は今後も定期開催することとした。

### 佐藤薬品工業社

管理職を対象としたマネジメント研修(対象: 課長以上)を8日間(4月、6月、7月、8月、10月、12月、2月、3月)行い、約50名の参加者があった。2020年度は、階層別研修(対象: 課長以上、主任/係長、上級係員)を実施予定

# 3 女性研究者の上位職への積極登用にに向けた各機関の取組

### 奈良女子大学

「次世代育成支援対策推進法及び女性活躍推進法に基づく奈良女子大学行動計画」を更新・策定(計画期間: 令和2年4月1日より令和4年3月31日)し、上位職の女性教員、女性管理職等の数値目標を決定

### 奈良工業高等専門学校

2019年度に、2学科において女性限定公募を実施

### プロアシスト社

女性研究者の上位職への積極登用にに向けた、チャレンジ制度(\*)の継続と改良  
・チャレンジ制度を補完する形で女性の管理職登用にに向けた教育メニューの検討  
・チャレンジ制度の資格範囲を更に広げ、資格要件である受講できるセミナー数を増加  
実績: チャレンジ制度を実行し、8名のメンバーが挑戦し、2月の報告会の審査で、女性5名、男性1名が上位職に登用された。

\*「チャレンジ制度」 新たな仕事に取り組み、評価が認められればランクアップする制度

### 帝人フロンティア社

令和元年10月 女性管理職1名をキャリア採用  
2019年度より、将来の女性管理職候補を特定し、個別に育成計画を策定している。

### 佐藤薬品工業社

女性社員の昇格人事を実施し、係長昇格者2名、主任昇格者6名となった。  
また、女性管理職候補者育成を目指し、管理職昇格要件のひとつである「ビジネスマネジャー検定」の受験を促した結果、2回の受験で計43名が受験し、うち女性が2名含まれた。

## 取組 4

ダイバーシティ研究環境実現方策の  
地域への普及のための取組

# 奈良から、関西から、元気を全国へ!



# 1 関西圏女子大学ダイバーシティ推進協議会(仮称)

本協議会は、関西圏に所在する国公立女子大学を中心として、その他の国公立大学、自治体、企業等が相互に連携・協力し、関西圏のダイバーシティの推進を図ると共に、地域・全国へ情報発信を行い、文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」を推進することを目的とする。関西圏女子大学連携プロジェクトWG(\*)をコアとして、令和元年度に設立された。ただし、名称は今後検討することとしている。

\*関西圏女子大学連携プロジェクトWGとは、  
関西の女子大学において、女性研究者の研究環境の整備・充実と研究の活性化や新領域研究の萌芽を目的とした新たな支援連携システムとして平成26年6月に設立された。武庫川女子大学、神戸松蔭女子学院大学、奈良女子大学が中心となり、所属する教員がお互いの連携を深め、共に女性研究者の研究環境の整備や共同研究を推進する活動を行ってきた。毎年数回のWG会議を行うと共に、毎年1-2回の「異分野交流会」を開催して、ライフイベントにより共同研究の機会が得られにくい女性研究者に共同研究のきっかけをつくる活動を行っている。



# 2

## キックオフシンポジウム 「奈良から、関西から、女性研究者の支援を牽引 ～全国に広がれ！ダイバーシティの取組～」

日時：令和2年2月27日(木) 場所：奈良女子大学 参加者61名

### 概要

連携6機関で「キックオフシンポジウム」を共同開催し、主催者の挨拶のあと、国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)プログラム主管の山村康子氏に基調講演をいただき、ダイバーシティ・マネジメントの段階やその推進における日米の比較、日本のダイバーシティ推進状況等について貴重なお話をいただいた。続いて6機関のそれぞれが、取組内容の紹介とともに、掲げた数値目標の達成に向けて決意を表明した。



# 外部評価委員会の設置と活動

「ダイバーシティ推進センター外部評価委員会規則」(令和元年9月27日規程第41号)  
第2条 委員会は、奈良女子大学ダイバーシティ推進センターに関する次に掲げる事項を評価する。

- 一 事業の運営に関すること。
- 二 事業の目標達成度に関すること。

### 主な業務

- 毎年の成果報告書への意見・コメント
- 3年度目(2021年度)と6年度目(2024年度)に外部評価委員会による評価を実施
- シンポジウムなどにおける講評

2019年度キックオフシンポジウム(2月27日開催)において外部評価委員1名の方に講評を行っていただいた。

# 広報関係

### ● 事業紹介リーフレット



### ● ダイバーシティ推進センター Newsletter 1号



# 3

## Webページの構築

- 本事業のWebページを共同で構築し、公開した。  
<https://diversity-center.nara-wu.ac.jp/>



- 連携機関のHPにおいて本事業のページを開設した。

武庫川女子大学  
<https://diversity.mukogawa-u.ac.jp/>



奈良工業高等専門学校  
<https://diversity.nara-k.ac.jp/>



### ● キックオフシンポジウム報告書



### ● 第8回異分野交流会報告書





# 2019年度事業取組実施表

2019年度(事業実施期間1年目)主な実施内容

実施体制 取組1 取組2 取組3 取組4

	日時	主な実施内容	実施機関など
実施	9月	「奈良女子大学ダイバーシティ推進センター規程」、「奈良女子大学ダイバーシティ推進センター運営委員会規則」、「奈良女子大学ダイバーシティ推進センター外部評価委員会規則」の制定、「奈良女子大学ダイバーシティ推進センター」設置	奈良女子大学
実施	9月	奈良女子大学で運用している「訪問型」保育システムの共同利用及び「訪問型」病児・病後児保育システムのモデル構築及び関西圏女子大学ダイバーシティ推進協議会(仮称)の設置等について検討開始	奈良女子大学・奈良工業高等専門学校・武庫川女子大学(以下3機関と略す)
取組2	9月25日	「研究力向上セミナー ～科研費獲得に向けて～」開催	奈良女子大学
取組2 取組4	9月28日	シンポジウム「世界で、国内で活躍する先輩から ― つながる・つなげる武庫女魂 ―」を開催	武庫川女子大学
取組1	10月	ワークライフバランス支援相談室の共同利用開始 ライフイベントの事由による支援が必要な教員に対し研究支援員を配置	3機関
実施	10月3日	第1回実務者会議	3機関
取組1	10月	「訪問型」病児・病後児保育、研究環境整備及び研究力向上のためのワーク・ライフ・バランスにかかるニーズ調査をアンケート形式で実施	武庫川女子大学
取組2	10月	優秀な女性研究者への研究費支援制度に基づき、3名の女性研究者に予算配分	奈良工業高等専門学校
取組1 取組4	10月25日	子育て支援サポーター養成ブラッシュアップ講座 「乳幼児の自己表現 ～ことば・あそび・からだのチャンネルをつかって～」開催	3機関
取組1 取組4	11月14日	ダイバーシティ意識啓発「知る・学ぶ・伝えるequality連続講座(第1回) 『すべては思い込みを捨てるところから始まる』」開催	3機関
実施	11月19日	第2回実務者会議	3機関
取組1 取組4	11月25日	子育て支援サポーター養成ブラッシュアップ講座「乳幼児の事故予防とAEDを使用した一次救命」開催	奈良女子大学
取組2	12月	・優秀な女性研究者への研究費支援制度に基づき、「女性研究者賞」2名の授賞を決定 ・共同研究プロジェクト2件採択	奈良女子大学
取組1	12月	奈良女子大学及び奈良高専の教職員等を対象に「訪問型」病児・病後児保育システムについてのニーズ・意見集約のためのアンケート調査実施	奈良女子大学 奈良工業高等専門学校
取組2	12月2日	第1回異分野交流カフェを開催	武庫川女子大学
取組1	12月、2月	ダイバーシティ事業分析・評価の研修を実施	奈良工業高等専門学校
取組1 取組4	12月4日	「ワークライフバランス」講演会開催	奈良工業高等専門学校
取組1 取組4	12月9日	子育て支援サポーター養成ブラッシュアップ講座「体験!保育の現場@奈良こども館」開催	3機関
実施	12月23日	第3回実務者会議	3機関
取組1	1月	病気・怪我の事由による支援が必要な教員に対し教育研究支援員を配置	奈良女子大学
取組1 取組4	1月16日	・ダイバーシティ意識啓発「知る・学ぶ・伝えるequality連続講座(第2回) 『パパの育児が世界を救う?! ～男性の育児の今昔～』」開催 ・ダイバーシティ推進センター女性研究者賞授賞式	3機関 奈良女子大学
取組2 取組4	1月24日	大学・高専・企業マッチング交流会(クリエイション・コア東大阪)	代表機関・共同実施機関
取組2 取組4	1月27日	ドクターコース進学説明会開催	奈良女子大学
実施	1月31日	第4回実務者会議	3機関
取組2 取組4	2月2日	異分野交流会を開催	奈良女子大学 武庫川女子大学 神戸松蔭女子学院大学 奈良工業高等専門学校
取組2	2月5日	「異分野交流会共同研究スタートアップ支援経費」採択者の決定	奈良女子大学
取組1 取組4	2月8日	子育て支援サポーター養成ブラッシュアップ講座 「どうする!?保育中の急なケガや事故に救急対応～ 食事中・あそび中・午睡中の安全～」開催	3機関
実施 取組4	2月27日	ダイバーシティ推進センター運営委員会及び連携機関長会議開催 ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)キックオフシンポジウム開催	代表機関・共同実施機関
取組2 取組4	3月3日-3月4日、 3月10日-3月11日	英語力強化セミナー「Effective Presentation講座」「Creative Speaking講座」を開催	奈良女子大学
取組1	3月17日	「訪問型」病児・病後児保育システムの構築に向けた第1回WG会議開催	奈良女子大学

## おわりに

平成31年の春に、関西圏の女子大学、高専、企業で、ダイバーシティの推進に意欲のある6機関が集まり、地方から元気を全国へ届けたいという思いで、私たちの提案をさせていただき、2019年度の文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」に採択されました。

この事業ではいくつものユニークな取組を行っています。中でも附属病院をもたない機関における「訪問型」病児・病後児保育システムを構築するという目標を掲げ、全国のモデルとなるように取組を進めているところです。

初年度は、事業の予算が下りた9月下旬から精力的に活動を進めてきました。その後、新型コロナウイルスの感染拡大防止のために、2月と3月における講演会やセミナー等の多くの取組を残念ながら延期や中止せざるを得なかったことがありますが、採択後の半年間の活動は、この報告書に見られますように、決して少なくない成果につながりました。2020年度は、さらに6機関の連携をより強くし、共に本事業を推進してまいります。

ダイバーシティ推進センター 副センター長  
奈良女子大学男女共同参画推進機構長

安田 恵子

## 文部科学省科学技術人材育成費補助事業 ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型) 2019年度ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)成果報告書

代表機関 国立大学法人奈良女子大学  
共同実施機関 奈良工業高等専門学校 武庫川女子大学  
株式会社プロアシスト 帝人フロンティア株式会社 佐藤薬品工業株式会社

発行 2020年(令和2)年6月  
作成 奈良女子大学 ダイバーシティ推進センター  
(Center for Diversity and Inclusion, Nara Women's University)  
住所 〒630-8506 奈良市北魚屋西町 奈良女子大学(H棟501室)  
電話 0742-20-3344  
FAX 0742-20-3344  
e-mail diversity-center@cc.nara-wu.ac.jp  
URL https://diversity-center.nara-wu.ac.jp/